

お客様用

# トヨタ純正

## 充電ケーブル（15m）

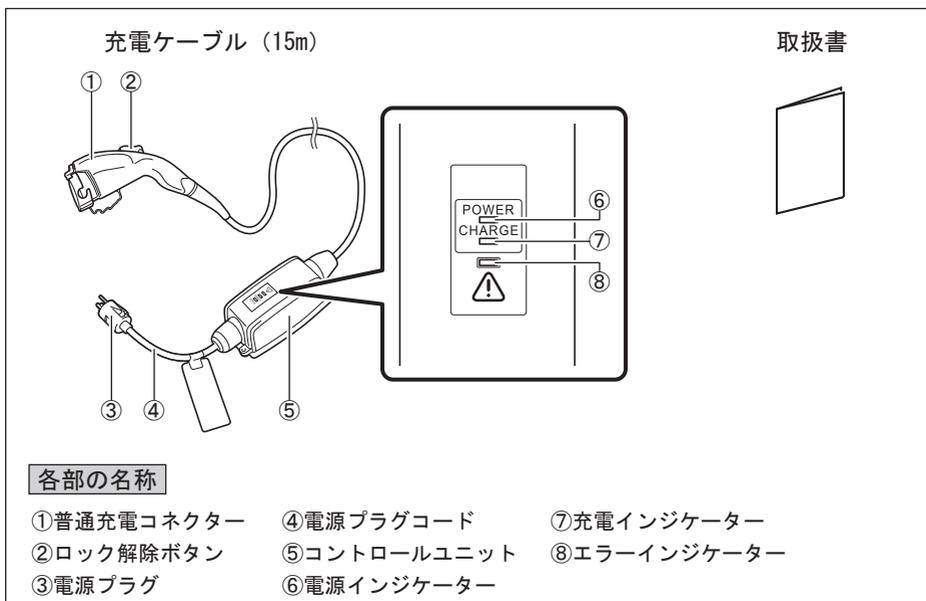
### 取扱書

このたびは、トヨタ純正充電ケーブル（15m）をお買いあげいただき、ありがとうございます。  
います。

ご使用前には必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使い  
ください。

本書は紛失しないよう大切に保管してください。

また、本品を他のお客様にお譲りになる時は、必ず本書も合わせてお渡しください。



### 安全上のご注意

充電ケーブルを取り扱うとき、車両取扱説明書の ⚠ 警告、⚠ 注意 の内容を必ず  
お守りください。

お守りいただかないと、思わぬ事故の原因となり、重大な損害におよぶか、最悪の  
場合死亡につながるおそれがあります。

詳しくは車両取扱説明書をご覧ください。

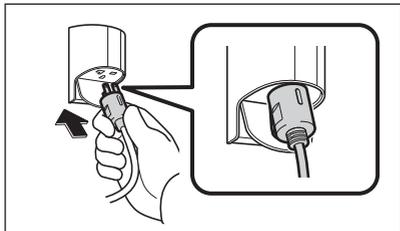
## トヨタ自動車株式会社

# 普通充電のしかた

## 充電するときは

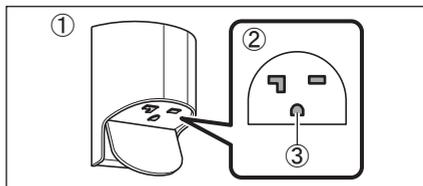
- 1 充電ケーブルの電源プラグを外部電源のコンセントに差し込む

必ず電源プラグ本体を持って、確実に奥まで差し込んでください。



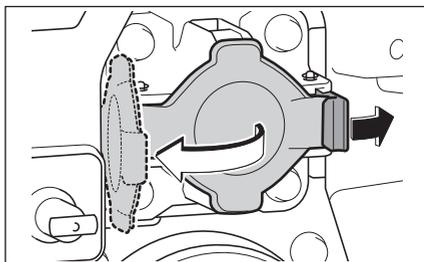
●BEV/PHEV専用コンセントに接続してください。

- ①BEV / PHEV 専用コンセントの例
- ②200V コンセント極配置※
- ③接地極（アース）

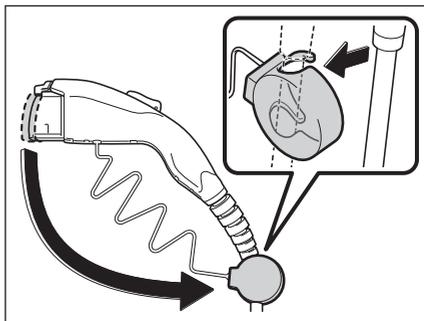


※図は代表的な形状を示したもので、実際のコンセントとは形状が異なる場合があります。

- 2 充電リッドを開け、普通充電インレットキャップを開ける



- 3 普通充電コネクターの保護キャップを外し、ケーブルにかけて固定する

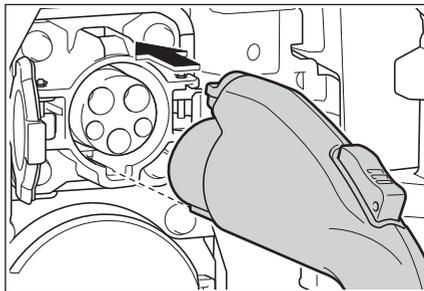


- 4 普通充電コネク터를普通充電インレットに差し込む

普通充電コネクターの下側にあるガイドの位置を合わせて、まっすぐにいっぱいまで差し込みます。

“カチッ”という音がして、普通充電コネクターが確実にロックされたことを確認してください。

充電が完了すると、コントロールユニット上の充電インジケーターが消灯します。



## ■ 充電時に異常が発生したとき

コントロールユニット上のインジケータの点灯・点滅状態の組み合わせにより、異常の内容をお知らせします。

エラーインジケータが点灯・点滅したときは、一旦電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに差し込んで、エラーインジケータが消灯するか確認してください。

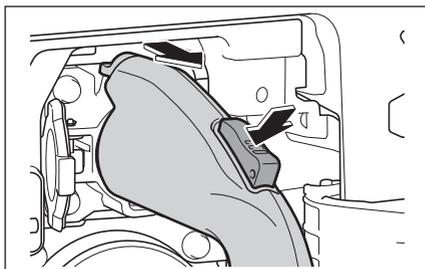
エラーインジケータが消灯していれば、そのまま充電が可能です。

消灯しない場合は、次の表に従って対処してください。

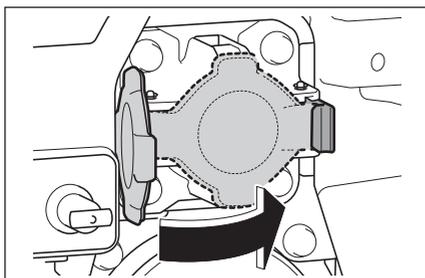
状況	⑥電源インジケータ	⑧エラーインジケータ	原因・対処
充電システムエラー	消灯	消灯または点灯	漏電を検知して充電を中断しているか、普通充電ケーブルが故障しています。 →トヨタ販売店にご相談ください。
	点灯	点滅	
電源プラグ温度検知異常	点滅	点滅	電源プラグの温度検知部品が故障しています。 →トヨタ販売店にご相談ください。
電源プラグ温度上昇検知	点滅	消灯	コンセントと電源プラグとの接触不良などにより、電源プラグの温度上昇を検知しました。 →電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。
普通充電ケーブル寿命予告	点灯	点滅	普通充電ケーブルの充電回数が、使用可能な上限に近付いています。 →トヨタ販売店にご相談ください。
普通充電ケーブル寿命	点灯	点灯	普通充電ケーブルの充電回数が、使用可能な上限を超えています。 →トヨタ販売店にご相談ください。

## 充電したあとは

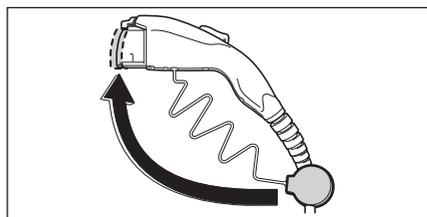
- ① ロック解除ボタンを押しながら手前に引いて、普通充電コネクタを取り外す  
充電中にロック解除ボタンを押すと、充電が停止します。



- ③ 普通充電インレットキャップを閉め、充電リッドを閉める



- ② 普通充電コネクタの保護キャップを取り付ける



- ④ 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜く  
必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。  
取り外した充電ケーブルは、ただちに片付けてください  
電源プラグを差したままにするときは、1か月に1回は電源プラグに汚れやほこりがないか点検してください。

